

21家族60人が「防災、体験」

8月16日に夏休み親子防災体験教室を消防局で開催しました。21家族60人の親子が阪神淡路大震災の地震の揺れや消火器での消火、煙避難などを実際に体験。地震や火災の怖さを改めて知るとともに災害に対する対処方法を学びました。



消火器で初期消火訓練



煙の中を低い姿勢で



起震車で地震体験



夏休み親子防災体験教室



河川の水位
警戒しています

粕川町込皆戸
市消防団第18分団・分団長
中谷 克己さん(48歳)

粕川地区の消防団分団長として、日ごろから粕川などの河川の水位に注意しています。河川の増水の危険を感じたら、地域のみなさんのため、昼夜警戒に当たります。

防災気象情報を活用し災害を未然に防ごう

防災気象情報について

気象庁からは、大雨・洪水警報、注意報など身近な気象情報のほかに、河川水位情報や土砂災害警戒情報などの多様な防災情報が提供されています。市民の皆さんもこれらの情報を有効に活用することで、災害を未然に防ぐことはもちろん、円滑な避難に役立てましょう。

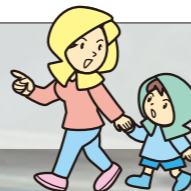
主な防災気象情報

- 緊急地震速報**…最大震度5弱以上の揺れが推定されたときに、震度4以上の強い揺れが予想される地域の人に対して気象庁から発表。
- 土砂災害警戒情報**…大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市長が災害応急対応を適時

適切に行えるように県と気象庁が共同して発表。

- 異常天候早期警戒情報**…著しい高温や低温など平年から大きくかけ離れた異常天候の発生の可能性が高まったときに、災害や被害の防止・軽減のために行う早期の警戒呼びかけ。
- 竜巻注意情報**…積乱雲の下で激しい突風の発生が予測される時に、住民に対して注意を呼びかける気象情報で、「雷注意報」発表中に、それを補足する情報として発表。

防災気象情報については前橋地方気象台 ☎231-1404へ問い合わせるか、気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/> をご覧ください。



台風の接近前に 早めの備えを

大災害をもたらす台風の多くが9月に襲来しています。これは、9月には日本列島に前線が停滞していることが多く、台風からの湿った南風が前線の活動を活発化させて大雨を降らせることが大きな要因の一つです。また、最近ではゲリラ豪雨といわれている局地的な集中豪雨があり、これは予想が非常に困難です。台風や豪雨は、事前の対策次第で被害を最小限に食い止めることができます。

日ごろの心構えと 準備

家の近くの危険場所と避難場所を家族で確認しておきましょう。いざというときのために、非常食や飲料水、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池などを準備しておくことが安心です。また、近所の排水溝をゴミがふさいでいないか確認し、雨水

台風が近づいたら

が排水しやすいように日ごろからきれいにしておきましょう。気象情報に注意し、できるだけ外出は控えましょう。自宅の屋根や窓などを点検し、商店などで看板がある場合は風で飛ばされないように固定。また、浸水などの恐れがあるときは、家財道具や生活用品を高い所へ移動しておきましょう。

避難するとき

避難勧告を受けたら、危険を感じなくても速やかに避難してください。単独行動は避け、地域の人と協力しましょう。お年寄りや体の不自由な人、病人などがある家庭は特に早めの行動が必要です。また、勧告がなくても、危険と判断したら自主的に避難しましょう。避難するときは、電気やガスなど火の元の始末、戸締まりを確実に。また、行動しやすい服装で、丈夫な運動靴や手袋なども持ちましょう。

風水害

に備えて事前の対策を

9月は台風や豪雨が集中するシーズンです

9月1日は「防災の日」です。これは大正12年9月1日に起きた関東大震災の悲惨さを伝えその教訓を忘れないために昭和35年に制定されました。

被害を最小限に抑えるためには知識と事前の対策が必要です。あなたは、家庭でどんな準備をしていますか。

問い合わせは 安全安心課 ☎898-5935